

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第120期 幹部予定者課程卒業式が挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いを申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、誠におめでとうございます。また、御家族・学校関係者の皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

今、こうして皆様の、規律正しく、凜とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた日々、中でも、古鷹山登山や、短艇とう漕訓練などを実施され、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。

私は、崇高な使命を担われている海上自衛隊の皆様を、誇りに思っております。皆様にはこれからも、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ幹部候補生学校で学ばれたことを誇りとし、更にたくましく成長していただきたいと願っております。

さて、皆様御承知のとおり、皆様が入校されてから約4か月半の間に、北朝鮮のミサイル発射実験が頻繁に行われるなど、わが国を取り巻く安全保障環境は、非常に厳しい状況が続いております。

こうした中で、今、この瞬間も、洋上、海中、空、陸上において、自衛隊員の皆様が、懸命に任務に就いていただいていることに、心から感謝申し上げます。

また、近年、大震災や台風・豪雨災害などによる、甚大な被害が多発しており、災害に対する不安は、以前にも増して膨らんでおります。

こうした中、被災者の復興に向けての力強い支援活動や、国連平和維持活動をはじめとする国際貢献等、自衛隊の皆様が寄せられる国民の信頼や関心は、益々大きくなっております。

どうか、本日御卒業される皆様におかれましては、この国の将来を担う、立派な指揮官になってくださることを、心よりお祈りしております。

皆様御存知のとおり、ここ江田島は、明治21年に旧海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、共存共栄、一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」を大切にしてきた地でございます。

皆様も、江田島市を第二の故郷として、折にふれ訪れていただければ、市民一同、心から歓迎申し上げます。いつの日か皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月1日

江田島市長 あきおか 明岳 しゅうさく 周作